広報 いよかね

発行所 今金町役場
発行人 今安 義雄
編集人 犬上 博



豊作への願いをこめて

＝神丘高台附近で＝

今年も田植えどきがやってきました。今農家ではどこでも出来秋の豊作えの願いをこめて田植えに大童です。雨や風などこれからの幾多の障害をのりこえて今年も豊作であるよう心から祈らずにはいられません。

議会常任委員

総務委員長　長谷川敬一
副委員長　諸戸忠左衛門
大越藤夫
加藤五郎
鈴木正
丸山九内
今野伝

土木委員長　中野喜久次郎
副委員長　河端武雄
松清豊
渡辺二郎
岡部広
中山源一
仁木盛勝

産業委員長　伊藤綱義
副委員長　田中千代吉
曽我井定一
藤村徳蔵
庫元吉雄
村本光夫

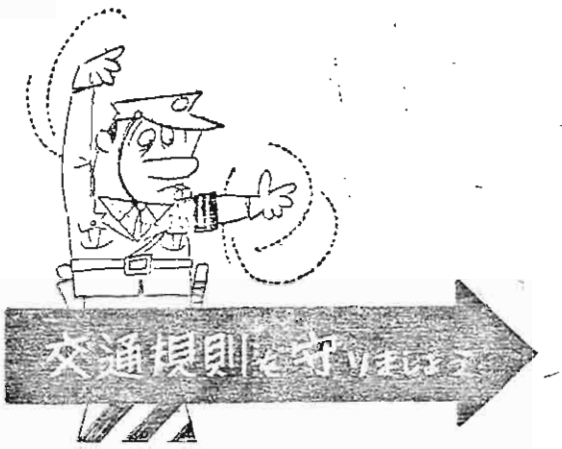
たばこ消費税とは

皆さんのふところを直接いためないで
年に5百万以上の収入が生れて、学校や道路がよくなります。
旅行のときなども煙草は必ず今金町で買いましょう。

今金町は

交通安全宣言町です

まず注意、人は車に、車は人に



毎月一日は交通安全日

毎月一日には次のようにサイレンをならし一般の注意を喚起することになっています。

午前七時
午後三時
午後七時

国民年金のお知らせ

国民年金制度も発足以来三年目を迎え、業務も円滑化されて参りました。この間当町においても母子年金の受給者が二名誕生し、又昨年は保険料積立金よりの還元給付として国保病院の病棟の増改築、その他住民福祉の向上に役立つて参りました。しかし今尚本制度に対する御理解が充分とは思われないので、このため昨年度の保険料検認率は全道平均より下まわつている現況であります。

国民年金制度の一つである障害、母子、準母子、遺児等の途中事故に対する年金は最低その事故の発生した月までの一ケ年間は保険料を納めていなくては年金を受給できないことになつております。このため万が一の事故に対しては国民年金の保険料は必ず毎月か三ケ月毎の納期限（一月、四月、七月、十月の各月）まで完納していることが必要で、事故が起きてから保険料を納めても年金を受給できません。

このように保険料を未納にしている場合年金を受けることができないばかりでなく年金制度の資金融資を受ける町勢の各種事業にも影響されますので保険料は日常生活の必要経費として必ず収入より差し引いて納めるよう心掛けられて最善の御用意が大切と思われます。

又、保険料を納めることができない人には保険料免除の措置が講ぜられこれらの人たちにも将来拠出制の年金は勿論、途中事故に対しても年金が支給されますから、必ず免除の手続きをして下さい



※場役村町市の年金の手続きは

今年の各種予防接種の予定

⊙予防接種等の実施

本年度就に二十余名の伝染病患者が発生しました。

次にこれから年末までの大まかな予防接種その他の予定をお知らせいたします

勿論、具体的な日時、場所その他は、種目別にその部度個人又は、部落町内会長を通じお知らせします。

小児マヒ予防

1. 六月下旬～七月上旬
小児マヒ、ソークワクチン接種

（対象者）
新規①回目昭37・4・1～37・9・30生
②回目　36・10・1～37・3・31生

ジフテリヤ、百日せき

2　九月上旬
ジフテリヤ、百日咳
（対象者）
○ジフ、百日の混合は昭37・4・1～38・3・31生と、前号の予防接種後12月から18月経つたもの。
○ジフテリヤだけの接種は、来年小学校へ入学するもの
と来春小学校へ入学するもの

3　十月上旬
インフルエンザ
（対象者）希望者のみ。

種　痘
（対象者）
(1)昭37・4・1～38・3・31生
(2)来春小学校へ入学する

4　十月下旬
秋期狂犬病予防接種

5　結核定期検診

6　十二月上旬
小児マヒソークワクチン接種
（対象者）
新規(1)回目昭37・10・1～38・3・31生
(2)回目昭37・4・1～37・9・30生

就任挨拶

民生の安定と平和に献身
町勢の飛躍的発展を期す

今金町長 **安部義雄**



昭和三十年今金町長に就任以来公私共に何かと町民各位の御記意を賜り、御かげをもちまして町内各般の事業につきまして着々進展をみました事は偏に御同慶に堪えない次第であります

この度三たび立候補しましたところ、幸い町民各位の絶大な御支持を賜りまして再選の光栄に浴し感激いたしておる次第でありますが、これを機会に更に決意を新たにして郷土今金の発展の為め最善の努力をいたしますと共に本町の民生安定と平和の為に献身いたす決心でありますので、何卒今後共倍旧の御鞭撻と御協力をお願い申上げる次第であります。

特に近年打続く災害に見舞われまして産業基盤の発展をいちじるしく阻害されてはおりますが、年々北部檜山の産業、経済の中心地としてのあらゆる建設事業も着々と実施されている現状を見るとき、絶え間ない躍進を続ける今金町の息吹きが感じられ、町民の皆さまと共に協力一致、益々本町の隆盛のために全力を尽したいと玆に重ねて決意を新たにしお誓いするものであります。

三たび就任の感激と決意を申上げ、併せて皆さまの尚一層の御協力御鞭撻を特にお願いしまして就任の御挨拶といたします。

就任挨拶

不偏不党、公正無私で議会運営に最善尽す

今金町議会議長 **河端豊**



さる五月十七日の本議会で当選就任いたしましたので、町民のみなさんにつつしんでごあいさつ申し上げます。

顧みますと、わたくしは本町議会議員としましてはきわめてその経験の浅いものでありますし、もとより非才でありまして、もとよりその器でないことはよく承知いたしているのであります。しかしながら、町民のかたがたのご支援があると信じまして、不びんを顧みませず、ここに議長をお引き受け申し上げたしだいであります。

本町は発展途上にありまして早急に施策を必要とするものが山積しておりますこれらの諸問題の解決に微力をつくしたいと決意しておりますが、より大きなわたくしの任務は、地方自治の精神にのっとり下偏不党公正無私の立場で町議の運営こそ重大なものと思い議員各位とともに議会の運営に最善をつくすことをお誓い申し上げ、みなさんのご期待にそいたいと存じております。

町民のみなさんの要望を重点施策としてその実現を期し、みなさんの福祉の増進と生活の向上に努力をする考えであります。

この上とも一層町議会に対して深いご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げて、就任のごあいさつといたします。

今金町議会議員記念写真 5.17日初議会





国保だより

世帯主全疾病七割給付実施

従前国民健康保険被保険者のうち世帯主に対しては結核、精神病のみ七割給付、その他の疾病については五割給付を実施致しておりましたが、今金町国民健康保険条例の一部を改正し、昭和三十八年四月一日より世帯主については全疾病七割給付を実施することに決定されました。

従つて自己負担割合は三割となります。

世帯主以外の被保険者については従前同様、全疾病五割給付でありますので自己負担割合は五割であります。

準世帯（世帯主が国保の被保険者でない世帯をいう）に対する七割給付の取扱いは厚生省で検討中でありますので決定次第御通知致します。

被保険者証の更新

四月一日を期して部落町内会長さんを通て、各世帯に新しい被保険者証を交付致しましたので御了知下さい旧被保険者証は無効ですから役場国保係へ返還して下さい。

被保険者証保存袋

被保険者証の適正保存の見地から保存袋を無償支給致しました。被保険者証を大切に保存して下さい。

被保険者証の異動整理

出生、死亡、転入、転出、社会保険、共済健保の加入、離脱等により被保険者の異動が生じた場合速かに被保険者証と印鑑持参のうえ国保係へ御届け下さい。

健康家族並に、保険税完納記念品贈呈

昭和三十二年国保事業開始いらい、三十七年度までに五ケ年以上医療給付を受けないで健康な御家庭と並に五ケ年以上保険税を納期内に完納された方に対して記念品を贈ることになつております。

近く各該当者宛に御連絡致しますから記念品受領に御出で下さい。なお、健康家庭は次のとおりです。

美利河　棟方　やよ
〃　久保田正一
〃　八重樫三郎
〃　三沢吉次郎
日進　原田　正勝
昭和町　難波　千鶴
南町　藤倉　とみ

国保運営委員がきまりました

国民健康保険運営協議会委員は、町の国民健康保険業務の運営の諮問にあたる重要な役目で、今度新たに次の方が委員として選任されました。

▽被保険者代表
吉田辰雄
梅本広治
小岩朔衛
林　磯次郎

▽保険医、薬剤師代表
富田守因
臣田胤富
辻　理
岩間崇

▽公益代表
長谷川敬一
加藤五郎
村本光夫
諸戸忠左衛門

総額七億四千四百万円に今年の国費・道費の開発事業

今年度の国、道関係が今金町で行う事業が、次のようにきまりました。開発局関係は二億三百万円、土木現業所関係は二億三百万円、営林局関係は二千百万円、道庁治山治水事業は一億七百九十九万円で、その合計額は七億四千四百四十九万円の大きな額になります。この費用は一切町費を要しないで、全部国や道で行う事業です。

今後もこの種事業の導入に町では一生懸命努力致しますので、町民皆さんの御協力をお願いいたします。

○開発局関係

今金―丹羽間道路改良
三千六百万円
利別川河川改修
一億四百万円
白石―むしなたい間開拓道路
二千万円
（継続の予定）

美利河橋永久橋架替
（〃）　九百万円
稲穂橋永久橋架替（〃）
二千万円
鈴金橋架替　六百万円
都市計画街路工事（継続
千五百万円
オチャラッペ川外十三件災害復旧
一億三千二百五十万円
計　四億千二百五十万円

（〃）　四千二百万円

○営林局関係

利別川上流治水事業
二千百万円

○土木現業所関係

中里地区道路改良
七千万円
金原川継続改修　一億円
住吉橋永久橋架替（継続
四千万円
オチャラッペ川改修（〃
二千万円
計　一億七百九十九万円

○道庁治山治水事業

中里地区五ケ所
五千四十万円
八束地区馬場川町有林
五千三百万円
〃
四百五十九万円
合計
七億四千四百四十九万円
但し治山関係を除いて本年度函館開建及び函館土木の総事業量五十億円余となつております。

七ケ町村の平均割としても一町村当り一億七千万円に比し本町はその二倍に相当する事業量であります。

今後続いて日進外各地区より要望の農業事業の増加達成には町民と共に一段の努力が必要であります。